

生活者

生活と政治をつなぐ情報紙

通信

No.392
2024.5.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

1 議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、交代制。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでカンパ(カンパ)と知恵や努力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

都議会ネット

■2024年第2回定例会:5月29日(水)～6月12日(水)。代表質問:6月4日、一般質問:6月5日。

地域ネット

日野ネット

なおことおしゃべりカフェ
5月11日(土) 14:30～16:30 南平体育館ラウンジ(南平駅) ゲスト:澤登早苗さん(恵泉女学園大学名誉教授) 042-514-8695

町田ネット

Spring Live Jazz & Bossa
5月12日(日) 14:00～16:00 Jee Me Studio(町田・生活者ネット事務所) (町田駅) 1000円(1 drink & cake) 042-729-2296

杉並ネット

お話しサロン～防災トークしよう
5月13日(月) 14:00～16:00 杉並・生活者ネット事務所(南阿佐ヶ谷駅) ゲスト:川村みどりさん(防災士) 03-5377-5080

江戸川ネット

みんなでつくる議会の質問!「政策ゼミ」
5月19日(日) 14:00～16:00 タワーホール船堀307会議室(船堀駅) 03-5607-5975

清瀬ネット

生活のお困りごと相談ください(毎月第3日曜日)
5月19日(日) 14:00～16:00 清瀬・生活者ネット事務所(清瀬駅) 042-494-8720

杉並ネット

なんでも相談室(毎月第3日曜日)
5月20日(月) 10:00～12:00 杉並・生活者ネット事務所(南阿佐ヶ谷駅) お困りのことを一緒に解決。個室あり 03-5377-5080

練馬ネット

9条スタンディング(毎月9日)
6月9日(日) 12:00～13:00 練馬駅南口(西武池袋線、都営大江戸線) 03-3993-4899

葛飾ネット

なんでも相談会(毎月10日)
6月10日(月) 10:00～12:00 葛飾・生活者ネット事務所(京成高砂駅) 03-5876-4757

生活者ネットワークは東京都内32の自治体にあり、都議1人、市・区議39人の議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

1日目のハネルティスカッション「民主主義教育に、世田谷区議の関口江利子(左から2人目)が登壇。民主主義ユーティリティセンターには、生活者ネットワークメンバーの準備会メンバーが中心となって参加した。準備会メンバーは、世田谷区議のおみずき、葛飾区議の田中さやか、白井なおこ、国立市議のなかにあやこ、前品川区議の田中さやか



沼田たか子(左)



▲参加者の若者と対話する、おのみずき
▶対話する、練馬区議のなかにあやこ



前列左から、おのみずき、なかにあやこ、関口江利子、後列左から、白井なおこ、田中さやか、東村山市議白石えつ子

共有されてはいないように感じ

一方、日本では「民主主義」という概念そのものが、腑に落ちて

「民主主義教育」や「北欧民主主義」をテーマとしたパネルディスカッションを通して痛烈に感じたのは、「教育」がカギだということ。北欧では、学校教育の目的は「民主主義の担い手を増やすため」であり、個人だけでなく社会



東京・生活者ネットワーク
ユティリティセンター準備会メンバー
日野生活者ネットワーク
市議会議員 白井なおこ

「大事なこととは市民が決める」。主権者市民を貫く民主主義のパイオニアを自負する、生活者ネットの存在を知ってもらえる貴重な機会ともなりました。ちょうど、生活者ネットにユティリティを立ち上げるところでもあり、これから若い世代とともに活動の輪を広げていきます。

自治体職員1年生という方からは、「議員になる人って、どんな人たちですか?」の問いが。設立から49年、この間に生み出したネットの議員233人の、それぞれが社会課題を抱える生活者市民、現役子育て当事者だったり、暮らしの不都合の中から必要な仕事を生み出し、共に投資し共に働くワークカーズ運動経験者であったり…。応える私たちも、生活者ネットの議員たちは地域から政治を変える実践者たちであることが改めてわかり、大いに対話が弾む場面もありました。

3・11東日本大震災から13年、能登半島激甚震災を経て

本年1月1日、能登半島はマグニチュード7.6、最大震度7の激震に襲われ、2万7千件強の住宅が全半壊し、死者245人、未だに8千人近い人が避難生活を強いられている(4月2日現在)。道路が寸断され、地盤の隆起、地割れ等が広範囲で発生し、避難することも困難である。志賀原発は、運転していなかった幸運により、大事故を免れたが、珠洲市に計画されていた原発は震源のほぼ真上になり、反対運動により断念されなかった場合には、ほぼ確実に重大事故(炉心溶融事故)になり、石川県や富山県、新潟県、福井県等広範な地域が被災していたことになる。4mもの地盤の隆起や2mに及ぶ水平変位などが生じた場合には、放射能を閉じ込める最後の砦である原子炉格納容器すらも破壊してしまう。半径30kmという福島事故とは比べものにならない大規模な被害になったであろう。また、原発の地震動の想定は甘い評価になっているため、最大値がもっと大きくなった可能性がある。さらに原発は地盤の大規模な隆起や地割れは全く想定していない。原発は平らな強固な岩盤の上に立っているもので、地盤が大きく変位する所に設置できるはずがない。



現在、3号機が運転中の関西電力美浜原子力発電所。福井県三方郡美浜町の前で

ない。外部から電源車やポンプ車など応援の人員を送り込む必要がある。若狭湾も原発周辺の道路が寸断され、原発の事故収束すらできなくなる。しかも、8機あるいは9機近い原発が設置されている若狭湾では、地域にあるいずれかの原発の格納容器が破壊されると、すべての原発から撤退するしかなくなる。急性被ばくと晩発性被ばくの発生、そして琵琶湖の汚染で半永久的に関西の水ガメが断たれ、同時に日本の歴史文化遺産である京都も失うことになる。



後藤政志 元原子炉格納容器 設計者/工学博士



①後藤政志氏講演会 原発をつくらなかったから言える事 2024年3月24日-YouTube
②デモクラシータイムス 原発処理汚染水の放出 岸田内閣改造の右往左往 2023年8月26日-YouTube

Information

辺野古新基地建設許さない 新宿南口スタンディング

6月1日(土) 11:00 ~ 12:00 新宿駅南口 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 090-3910-4140

沖縄戦の現場から声をあげる一戦没者の声なき声を聞くー

6月2日(日) 18:00 ~ 練馬区役所地下多目的会議室(練馬駅) / オンライン 講師:具志堅隆松(沖縄戦遺骨収集ボランティアガマフヤー代表) 700円 沖縄戦を考える練馬の集い実行委員会 090-8311-6678 kashiwa09autumn@gmail.com

東海第二原発うごかすな! 日本原電本店前抗議行動

6月5日(水) 17:00 ~ 18:00 日本原電本店前(末広町駅・秋葉原駅) とめよう!東海第二原発首都圏連絡会/再稼働阻止全国ネットワーク 070-6650-5549

東京電力は福島原発事故の責任をとれ! 東電本店合同抗議

6月5日(水) 18:45 ~ 19:45 東京電力本店前(新橋駅・内幸町駅) 呼びかけ:経産省前デントひろば 070-6473-1947 / たんぽほ舎 03-3238-9035

都議会REPORT

だれもが暮らしやすい「生活のまち東京」は進んだか?

東京・生活者ネットワーク都議会議員
岩永やす代 [国分寺市・国立市]



東京は1400万人の人が暮らす都市です。都民の生活に根差した政策が必要です。2040年には都内の75歳以上の高齢世帯の4分の1が一人暮らしになる推計もあり、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、都内で介護職が3万1千人不足すると言われていきます。単身高齢者の暮らしが立ち行かなくなってしまうように、在宅の介護や医療を支えるしくみづくりも急がれます。また、コロナ禍の影響や物価高で急増している生活困窮者への対策は、本来公的な支援で根本的に解決されなければならぬ問題ですが、一時的なクーポンの配布やフードバンク・子ども食堂の運営補助など、ボランティア頼みとなっており、生活困窮者の暮らしは改善されていません。



杉並区善福寺川の地下調節池整備予定地を、杉並・生活者ネットワークのメンバーとともに視察。2023年12月2日

環境政策

●「グリーンビズ」に逆行する環境政策

東京のまちに根づく樹木は、木陰や涼風の流れをつくり、緑の連続(緑のネットワーク)により生物多様性を守ってきました。大都市東京を冷やし、潤いをもたらしてきた大木を切り倒すことで東京を吹く風はさらに熱さを増し、気候危機対策に逆行します。

小池知事は「環境先進都市」を掲げ、緑を守り・育て・活かす「グリーンビズ」を進めると明言していますが、明治神宮外苑を始め日比谷公園、葛西臨海水族園などで

の樹木の大量伐採に加えて、無電柱化のために街路樹を伐採するなど、今わかつている計画だけでも数千本の樹木が伐採されます。長い年月をかけて都民が大切に育み、時代を超えて引き継いできた樹木や景観など、コモン(公共の財産)がないがしろにされています。ひとたび失われた緑地や樹木は二度と元に戻すことはできません。今ある貴重な緑を守りながら、気候危機の時代にあつた都市づくり、持続可能なまちづくりを市民参加で進めていくことこそ、真の「環境先進都市」東京の役割ではないでしょうか。

●「二丁目一番地」の情報公開のゆくえ

地震や豪雨への対策「強朝化プロジェクト」を名目に、道路や河川などハード整備を次々に進めようとしています。善福寺川や石神井川の地下調節池など、事前に市民への説明がまったくなされず、計画が発表され、驚いた住民から反対意見が噴出してきます。事業決定のプロセスに透明性も説明も足りません。知事が就任時には「二丁目一番地」と称していた情報公開は一向に進んでおらず、開示請求した文書は黒塗りや白塗りだらけで説明責任を果たしていません。情報公開を徹底し、住民とともに地域の将来像を描き、市民合意を進めていく都政運営への転換が必要です。



●東京・生活者ネットワークは、3月30日、第24回定期大会を開催しました。2025年12月までの活動方針などの全議案を可決。来年の都議選にむけて、議席増をめざし全生活者ネットワークで取り組むことを確認しました。代表委員に、岩永やす代(新任・国分寺ネット・都議会議員)、新村井玖子(新任・江戸川ネット・元江戸川区議会議員)、山内玲子(再任・国立ネット・前都議会議員)の3人、事務局長に、古池初美(新任・日野ネット・元日野市議会議員)が信任されました。



編集後記/桜の散りしる土曜日、「路線バス&ウォーキングで巡る 重要土地等調査規制法に基づく注視区域対象 朝霞駐屯地・キャンプ朝霞 (AFN 和光送信所)」に参加した。成増駅からバスで諏訪原住宅前に移動。フェンスで囲まれた広い芝生の敷地に2本のアンテナがそびえ立つ、AFN(在日米軍放送局)和光送信所が現れた。ここで指定が推定される「注視区域」は、埼玉朝霞市、和光市、東京都板橋区、練馬区にまたがっている。そこから、陸上自衛隊の指揮中枢・陸上総隊司令部が置かれている、陸上自衛隊朝霞駐屯地まで約40分のウォーキング。国は、注視区域内の居住者・その他関係者の個人情報や、定義があいまいな「機能阻害行為」を理由に収集するという。(上坂)

地方自治と子ども施策 全国自治体シンポジウム2023 小金井 開催される
子どもの声の反映は、
行政の子ども現場への参加から

第20回目となるこのシンポジウムは、2月10-11日に地元小金井市で開催された。自治体関係者や研究者・専門家・NPO等が協力し、「子どもにやさしいまち」の推進とネットワーク構築を目的に、毎年全国各地で開催されている。

今年の全体テーマは、「子ども施策の基本理念と自治体における子どもの意見の反映」だ。2023年4月に子どもも基本法が施行されたが、実際に子ども施策を担う自治体は、どのように子ども一人ひとりの声を聞き反映させるのか、戸惑っているのが実態ではないだろうか。

市の職員は子ども参加者を募集する段階から苦労するのが常で、ここは弱いところだ。

シンポジウム初日は例年、開催自治体の首長から歓迎挨拶や取り組み報告がある。小金井ではどのように「子どもの意見の反映」を報告するのかと、期待と懐疑半々に当日を迎えた。

子ども参加・意見表明を進めよう——小金井市の取り組みから

白井市長はまず行政の取り組みとして、環境政策課・緑と公園係が実施したインクルーシブ公園づくりへの意見を聞くワークショップや、市内の中学生対象に、意見聴取に必要な取り組みを検証するための会「小金井(しょうがねい)を変えちゃう人の会」の実施を報告。インクルーシブ公園については、「子どもの声を聞く」ことが必須の補助金事業に、公園係が手を挙げたことは評価するが、子どもの声を聞くために、今後は遊び場事業と連携して人を配置すべきだ。「小金井を変えちゃう人の会」は、きっかけは今日のシンポジウムでの報告のためとしても、大人や大学生と中学生が同じ場で議論し、それが市の取り組みに活かされる経験を子どもたちが持つことは歓迎だ。ここはシンポジウム開催の効果として、一過性の取り組みに終わらないよう注目したい。

次に地域の取り組みとして、ミ

ステリートレイン」と、NPOこがねい子ども遊パークによる「こどものまち・ミニこがねい」の報告へと進んだ。どちらも子どもが主体的に参加し、企画から当日の実施まで楽しんでいる人気事業だ。しかし行政の関りはほとんどない。

子どもの参加を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

翌11日には、市内各会場に分かれての子どもの権利保障を促進するための6分科会が行われ、全国各地の先進事例、特筆事例が共有された。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

小金井市子どもの権利条例(2009年)の実施・検証過程で制定に漕ぎつけた、子どもの味方「子どもオンブズパーソン」(2022年〜)について、白井市長が報告。2月10日

子どもも参画・意見表明を進めよう——小金井市の取り組みから

白井市長はまず行政の取り組みとして、環境政策課・緑と公園係が実施したインクルーシブ公園づくりへの意見を聞くワークショップや、市内の中学生対象に、意見聴取に必要な取り組みを検証するための会「小金井(しょうがねい)を変えちゃう人の会」の実施を報告。インクルーシブ公園については、「子どもの声を聞く」ことが必須の補助金事業に、公園係が手を挙げたことは評価するが、子どもの声を聞くために、今後は遊び場事業と連携して人を配置すべきだ。「小金井を変えちゃう人の会」は、きっかけは今日のシンポジウムでの報告のためとしても、大人や大学生と中学生が同じ場で議論し、それが市の取り組みに活かされる経験を子どもたちが持つことは歓迎だ。ここはシンポジウム開催の効果として、一過性の取り組みに終わらないよう注目したい。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

子どもも参画を進めその意見を市の事業に活かすなら、行政こそが「子どもも参画の現場」に「参加・協働」すべきだと思う。その意味でも、子どもの相談数が増えている子どもオンブズ事業への、子どもも参加の意見交換・検証の場を求めたい。

